

事業完了（廃止等）報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月8日
調査研究事項	<p>委託研究 ></p> <p>ア. 義務教育未修了者に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に応じた学習指導の充実について <p>イ. 入学希望既卒者に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学や試験登校などの在り方について
調査研究のねらい	<p>川崎市立西中原中学校夜間学級には、フィリピン、中国、ネパール、韓国、マレーシア等の国籍を持つ生徒が在籍の多くを占めるほか、60代以上の高齢者も在籍している。そのため、算数・数学や国語等の基礎的・基本的な学習内容の相違が大きく、生徒の個々に応じた指導が必要であり、そのための教材の在り方について研究し、生徒の学力の向上を図りたい。</p> <p>また、文化祭などの学校行事を通して、人とのかかわりや日本の伝統的な文化等に触れる機会を設け、日本文化に対する理解を深めたり、教養を身に付けたりすることをねらいとしたい。</p> <p>また、既卒者による入学希望が今後増えることが予測されることから、入学前の見学や体験入学などの在り方についても十分に検討し、多様な教育機会を提供することができるよう、夜間学級と教育委員会がより連携を図ることが重要であると考えます。</p>
調査研究の成果	<p>ア、1年生で日本語の授業を多くカリキュラムに取り入れたことで2・3年生の学習が以前に比べスムーズになり、学習も定着するようになった。</p> <p>日本語学習については、読む・書く・考える・日常会話等、内容が単調にならないようカリキュラムを組んでいる。日本語教材テキストを基に、自主教材を作成するなどして工夫し、生徒の学習意欲も向上している。</p> <p>英語については、日常会話に困らない生徒もいる一方、アルファベットもわからない高齢者もあり、習熟度に大きな差がある。それぞれの能力にあわせた教材を用意したり、授業内容の工夫をしたりしている。また自国で、ある程度英語を使用していた生徒でも、日本の英語学習にも対応できるような授業も行った。</p> <p>日本語・数学・数学に関しては、学年別に加え、習熟度別・一部取り出しなどを必要に応じて対応している。</p> <p>また、様々な国籍を持つ生徒に日本文化に対する理解を深めることを目的として、文化教室（今年度は陶芸教室 12月20日）</p>

餅つき大会(1月18日)をはじめ、七夕や節分など、体験を通じて由来などの説明を行い、生徒の大きな楽しみにもなっている。

入学式・体育祭・文化祭・卒業式は昼間の生徒と一緒に、西中原中学校の一員という自覚を持つとともに、大きな刺激となっている。文化祭への参加を通じて、自国の紹介をして国による文化の違いなどを発表することができ、昼間の生徒の学習にもつながった。また体育祭では、心を一つにして行う行進の難しさを学び、100Mの全力走を経験することで、自分の体力や健康と向き合う機会になった。

このような行事の事後学習として、スピーチや感想文などを書くことを行い、日本語学習にも役立っている。

イ、既卒者の入学については事前相談や面接を通して、多様な教育機会を図るようにした。育った環境や現在に至るまでの本人の気持ちなどを十分聞き取った上で、寄り添った教育を行うようにした。入学後は生徒一人一人の学習状況に応じたカリキュラム編成を行い、状況に応じて柔軟に対応できるように職員の体制を整え、生徒の学習意欲につながった。

夜間中学では対応がむずかしい特別支援教育や、本人のみならず家庭への支援が大きく必要なことが入学後にわかったケースもあり、今後の大きな課題となる。